



カケハシ・プロジェクト派遣プログラムの記録

対象：カケハシ・イノウエ派遣第1陣

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国へ日本の大学生および引率者計25名が派遣され、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019年2月10日～2月17日の日程でプログラムを実施しました。

一行は、学校交流で日本の魅力紹介プレゼンテーション及び実演を行い、視察先では米国や日米両国の関係について理解を深めました。プログラム中、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて積極的に対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪米経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加団体・人数】

福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部 計25名

【訪問地】

米国（ハワイ州ホノルル）

2. 日程

- 2月10日(日) 【到着】
【オリエンテーション】
【視察】カメハメハ大王像/バニース・パウアヒ・ビショップ博物館/ハワイ出雲大社
- 2月11日(月) 【表敬訪問】在ホノルル日本国総領事館
【自然体験】ヌアヌパリ展望台
【企業視察】ファースト・ハワイアン銀行
- 2月12日(火) 【学校交流①】ハワイ・パシフィック大学
【視察】イオラニ宮殿
- 2月13日(水) 【視察】パールハーバー（戦艦ミズーリ、アリゾナ記念館他）/ハワイ・プランテーション・ビレッジ
- 2月14日(木) 【学校交流②】ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ
【ワークショップ（報告会準備）】
- 2月15日(金) 【成果報告会】
【視察】ハワイ日本文化センター
- 2月16日(土) 【出発】
- 2月17日(日) 【帰国】

3. プログラム記録写真

	
<p>2/11 【表敬訪問】在ホノルル日本国総領事館</p>	<p>2/11 【企業視察】ファースト・ハワイアン銀行</p>
	
<p>2/12 【学校交流①】ハワイ・パシフィック大学</p>	<p>2/12 【視察】イオラニ宮殿</p>
	
<p>2/14 【学校交流②】ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ（スピーチクラス）</p>	<p>2/14 【学校交流②】ウィンドワード・コミュニティ・カレッジ（シアタークラス）</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

今回の訪問では本当に様々な事を学ぶことができました。領事館、ビショップミュージアム、プランテーション・ビレッジではハワイの歴史を学び、貴重な資料をじっくり見ることができました。日本からだけでなく、中国、韓国、ポルトガルや沖縄からも移住するため、出稼ぎのためにとはるばるハワイへ来ていました。それぞれ目的が違ったにも関わらず、ハワイにはその人たちがもたらした文化が今でも残っており、当時のハワイ人が取捨選択して出来上がったのが、今日のハワイなのだと感じました。企業訪問では、日本人と日系の方が実際に働いている姿を見て、話を聞くことで日本との仕事の違い、二つの人種の間でつながっているものを学びました。ハワイに住む日系の方は多文化の中で暮らす中で多様性が身につけており、それが人の良さにもつながっているのではないかと思います。このプログラムに参加することができて本当に良かったです。私たちの国日本は観光客がかなり増えているのでいつか移民もかなり入ってくるのが予想されます。ハワイの人々のように異文化に対する柔軟性を持った女性になりたいです。パールハーバーの訪問はとても興味深いものでした。アメリカ側の視点に立つことで日本では学ばなかったこと（例えば戦前に平和を求めたルーズベルトの日本への手紙や神風特攻隊が攻めてきた跡）を知ることができました。このことから私たちは一つの視点に絞って物事を見てはいけなと感じました。互いに一つのことについて知り、互いの立場に立って考える、これが一つの異文化へのアプローチであり、平和をもたらすものだと思います。戦争を放棄した国の一つとしてしなければいけないことだと思います。また、アリゾナ号とともに沈んだ1,000人以上の乗組員の平均年齢が21.5歳であったことにも大変驚きました。自分と同じ年齢の人がと思うととても考えられません。また、海には一部色の違うところがありました。それはアリゾナ号から未だに流出し続けている油でした。約80年間もずっと出ている油、そして引き上げることのできない遺体があると聞いた時に本当に驚きました。また、戦艦ミズーリに突入した日本の特攻隊の跡は、やはり小さく、自らの任務を全うしたのにと日本人として少し悲しい気持ちになりました。しかし艦長の命によりその特攻隊乗務員は海軍式の水葬で弔われたと聞き、同じ人間、同じ兵隊として通じるものがあつたのではないかと思います。学んだことを活かしてこれから生きていきたいです。

◆ 大学生

今回の訪問はとても価値あるもので、毎日学ぶことが非常に多かったです。特に印象的であったものは、パールハーバー視察です。日本の真珠湾攻撃について、アメリカの方々があのようなことを思っているのか、また違う視点から物事を考えることができました。学校で学ぶ真珠湾攻撃ですが、日本の教育はその事実についても、第二次世界大戦についても、もう少し深く、生徒に興味を持ってもらえるように変えるべきではないかと思います。なぜなら、私自身、それに対しての知識が十分あるわけではなく、改めて第二次世界大戦について学び直したいと思った一人だからです。そして、大学やカレッジ訪問では、個性のある学生たちと話し、仲良くできたので嬉しく思います。プレゼンテーションも実演も楽しんで頂けたので良かったです。これからも交流を続けていきます。最後に、訪問先にいる日本人の方々のバックグラウンドを知ることができたこ

とも今後の将来を考えさせてくれるヒントになり、とても価値あるものでした。

5. 受入れ側の感想



◆ 学校交流参加学生

発表は素晴らしかったです。何人かの学生たちと知り合いになれて楽しかったですし、皆さんとても親しみやすい人たちでした。日本の文化についてたくさん学べた上、みな私を粘り強く待って励ましてくれました。自国のことを学生たちが情熱を持って話すのがとても良かったです。皆さんが発表や実演に込めたあらゆる努力を私はきっと忘れません。またすぐに学生たち皆さんと会えることを願っています。本プログラムは、日米の学生にとって、お互いの文化を学ぶ素晴らしい方法だと思います。このような学生交流は、直接に向かい合いながら、お互いの文化がいかに面白くて、美しいかということを経験できるチャンスを与えてくれます。


◆ 学校交流参加学生

日本人学生のパフォーマンスは最高で楽しかったです。母国語とは全く違う別の言葉で発表ができる能力にとっても感動しました。福岡女学院のダンスを教わったのも良かったです。私達にも参加するように誘ってくれて嬉しく思いました。彼女たちの喜びや親切心が伝染し、私はその後一日中、ずっと嬉しくてニコニコしていました。日本人学生に対する最初の印象は、とても積極的だということでした。一緒に歩いたり、ゲームをしたり、ランチを食べながら彼女たちとのおしゃべりを楽しみました。今まで一度もこうした交流の経験はなかったので期待していませんでしたが、他の国の私と同じ年の学生たちとこんなに素敵な繋がりを持つことができました。これからも連絡を取り合い、もっとお互いに分かり合えると期待しています。

6. 参加者の対外発信

	
<p>視察についての発信（Instagram）</p> <p>これらはすべてヨーロッパ戦線で犠牲になった日系人兵士の名前です。パールハーバー後にまず疑われたのが日本人と日系人で拘束を受けたのは教育的立場にある先生や新聞社の人たちなどだそうです。ほとんどが本土の収容所に送られて終戦まで拘束されていたそうです。家族が拘束されてしまって取り残された人たちが、自ら志願して入隊することでアメリカへの忠誠心を証明しました。激戦区だったヨーロッパ戦線で勝利を収めたけれど、これだけの数の日系人が犠牲に…私たちって、人間としてどうあるべき？これからどうしたらいい？と思いました。</p>	<p>視察についての発信（Instagram）</p> <p>真珠湾はハワイに来たら必ず訪れるべき場所だと感じました。日本で暮らしていると、アメリカ側の視点から第二次世界対戦を考える機会はなかなかありません。日本で学んだ歴史を別の視点から見ると自分の考えをより一層深めることができます。世界平和のためには自国のことだけでなく相手の立場になって考えることが重要です。ハワイにはかつて様々な国から移民がやってきて、それぞれの国の人々でコミュニティを作り生活していました。しかしその生活は決して簡単なものではなく、一日中働いて食事をして眠るというだけのものでした。プランテーション・ビレッジでは同時にタイムスリップしたかのように移民の方々の生活の様子を見ることができます。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p style="text-align: center;">Action plans</p> <p style="text-align: center;"><i>For exchange students (HPU students)</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Giving the presentation about "Chisan chishou" <p style="text-align: center;"><i>For people around the world</i></p> <ul style="list-style-type: none"> • Post the our presentation video on SNS 	
<p>アクション・プランの発表 1</p> <p>交流校（ハワイ・パシフィック大学）の学生に“地産地消”についての発表を行う。世界中の人々に SNS でその発表ビデオを配信する。</p>	<p>アクション・プランの発表 2</p> <p>交流校学生と両国の現状を共有した上で、アンケートを実施し結果を報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ホームレス問題への関心 ② ハワイ・日本それぞれの政策・取組みについて ③ ホームレスの人々に何か支援を行ったことはあるか ④ 新たに考えられるホームレス支援のための取組みなど。